農大だより

ホームページにも最新情報満載！！
URL ： http://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/noudai/index.html
E-mail ： noudai@pref.nagasaki.lg.jp

発行日　令和8年10月30日　Vol.２
発行者　長崎県立農業大学校
所在地　〒854-0062　諫早市小船越町３１７１
TEL　０９５７－２６－１０１６　FAX　０９５７－２５－３８７１

九州自治会等リーダー研修会　6月24日・25日

九州地区農業大学校自治会等リーダー研修会が6月24日（水）・25日（木）に熊本市立金峰山自然の家（ヤマガラビレッジ）で行われました。この研修は毎年、各県持ち回りで行われ、今年は熊本県が担当でした。研修目的は「九州各県の農業大学校自治会等のリーダーが一堂に会し、学生自治会活動の活性化等について意見交換や学習活動を行うことで、学生間の交流を深めるとともにリーダーシップの醸成を図るもの」です。各県から自治会リーダー42名（学生）と指導・引率職員16名、合計58名の参加がありました。本校から大場汰駕会長、谷﨑遼翔副会長、横田野乃副会長、橋本和佳奈副会長、烏山助教授の5名が参加しました。

１日目は開会行事、各学校の概要紹介、グループディスカッションが行われました。グループは各県バラバラで5～6名の班で編成され、テーマは「地域農業を未来につなぐためにリーダーとして求められる力と、それを得るために今取り組むべきこと 」でした。

２日目は前日にグループディスカッションで話し合った内容を発表しました。２日間寝食を共にしたことで、農業にかかわる仲間としての意識が高まり、コミュニケーションも自然に増えて交流が深まりました。


本校の紹介をする学生


テーマについて意見を出し合う


グループディスカッション会場


みんなで楽しい夕食会


最後はマシュマロで食べ納め


参加者全員で記念写真

［ 参加した学生の感想 ］

◎　今回の研修を通して他県の学生会のメンバーや先生方との交流を通し、他県の学生会活動や実習・講義のやり方などを聞き、その学校にしかない特色を知ることができました。
◎　今回の研修では他県の学生と共に過ごす中で、改めて自分の目標を再認識できた。また友達も増え次の九州親善スポーツ大会で会えるのが楽しみになりました。
◎　他県の学生と意見交換をする中で、それぞれの学校での取り組みや考え方の違いを知ることができ、とても勉強になりました。また、リーダーとして大切なのは、自分から積極的に行動し、周りの人と協力することだと感じました。

2年生北海道研修　7月6日～10日

７月６日（月）～７月１０日（金）の日程で、2年生26名が国内研修（北海道研修）を行いました。内容は2泊3日のファームステイや各学科の学習内容に関連する施設の見学・体験を行いました。長崎にはない大規模な農業経営や大自然を満喫することができました。また、札幌市内では大倉山ジャンプ競技場を見学するなど北海道の歴史や文化に触れ、楽しい思い出がたくさんできました。


出発式で挨拶をする酒井校長


出発式後、バスに乗り込む学生



ESｺﾝﾌｨｰﾙﾄﾞ北海道で


野菜コースの研修先で


果樹コースの研修先で


花きコースの研修先で


畜産学科の研修先で



大倉山ｼﾞｬﾝﾌﾟ場で

農大体験カレッジ　7月11日～12日

７月１１日（土）・１２日（日）の１泊２日の日程で、県内の高校生を対象に農大体験カレッジを実施しました。 参加者は男子36名、女子23名の合計59名で、そのうち23名が寮での宿泊体験にも参加しました。

１日目は、希望する学科・コースに分かれて実習体験を行いました。夜には飛雲寮の食堂で、グループに分かれて農大の１年生と交流会も行いました。学生から学校や寮での生活について直接、経験を伝えることができ有意義な時間となりました。

２日目は研修部でトラクターの実車体験を行いました。学科・コースの貴重な体験や寮生活も経験でき、農大をより深く知ってもらう機会となりました。


野菜ｺｰｽ「ｱｽﾊﾟﾗｶﾞｽ収穫体験」


花きｺｰｽ「フラワーアレンジ体験」


果樹ｺｰｽ「ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ収穫体験」



畜産学科「ｱｲｽｸﾘｰﾑ作り体験」


研修部「トラクター実車体験！」


飛雲寮での交流会の様子

［ 農大体験カレッジに参加した生徒の感想 ］

・いろいろな体験をさせていただき、わかりやすく教えてもらいありがとうございました。
・初めてのことばかりで不安でいっぱいでしたが、先生方のおかげで頑張ることができました。
・自分の中でもう一つの道を見つけることができたのでよかったです。
・もう一つの進路希望と迷っているので、今回の体験をもとにしっかりと決めていきたい。
・農大の先輩方と話すことができてよかった。寮でいろいろと話を聞けていろんなことを知ることができた。
・他の参加者の方や農大生と話をしたことでとても刺激になった。農業に関わろうと思ったきっかけや、その上でこれからの農業に何が求められているのかの考えを深めることができた。
・高校卒業後のことをほとんど考えていなかったが、考えるきっかけとなった。農大の存在や畜産での学びなど新しく知ることができた。

1年生川まつりボランティア　7月25日

7月25日(土)、諫早川まつりが本明川周辺で行われ、1年生18名、2年生3名が灯ろう設置のボランティア活動に参加しました。蒸し暑い中で学生たちはメジャーで測りながら800個の灯ろうを1個ずつ設置しました。20時のサイレンの合図で、ろうそくに点火し完成させました。幻想的な風景に感動し、花火の音を聞きながら、最後はみんなで後片付けをしました。





メジャーで測りながら灯ろうを設置



きれいに並べた点火前の灯ろう



点火後の灯ろう



花火も上がりました



幻想的な風景に感動しました

学生会役員引継ぎ式　9月9日

学生会役員引継ぎ式が9月9日(水)に第1教室で行われました。まず、大場汰駕会長より「皆さんのご協力により会長を無事に務めることができました。ありがとうございました。これから新しい役員に引き継ぎますが、新会長を中心に学生会を盛り上げて欲しい。」とあいさつがありました。その後、旧役員一人一人から退任のあいさつがあり、会場からは、ねぎらいの大きな拍手がありました。

新会長候補の木村篤海さんは国民スポーツ大会で不在だったので、副会長候補の笠原大輔さんから新役員について提案がなされ、全会一致で承認されました。新副会長に承認された笠原君から「先輩方が築いてこられた学生会の伝統を、さらに発展できるように頑張ります。」と力強いあいさつがありました。その後に、酒井校長より旧役員に対するねぎらいと新役員に対する激励の言葉がありました。新役員の任期は令和8年9月引継ぎ式から令和9年9月の引継ぎ式までとなります。新役員は以下の通りです。



挨拶をする大場会長



退任の挨拶をする役員



新学生会役員のメンバー



就任の挨拶をする笠原新副会長

新学生会役員

会　長	木村	篤海
副会長	笠原	大輔
〃	出口	ひなの
〃	植村	真大
書　記	川尻	陽和
会　計	坂田	幸亮
監　事	佐藤	創
生活委員	村上	太伯
文化委員	山口	蓮斗
防火安全	高柳	善亘
体育委員	川田	修士

学生会役員は委員長のみを表示



学生会長　木村さん



副会長兼男子寮長　笠原君



副会長兼女子寮長　出口さん



副会長　植村君

九州地区親善体育大会　9月10日～11日

九州地区農業大学校親善体育大会が9月10日(木)･11日(金)の2日間、鹿児島姶良市のビーラインスポーツパーク姶良を中心に九州8県、学生534名、関係職員102名の参加のもと8競技が行われました。

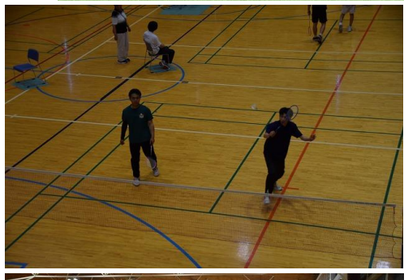
本校からは4競技に49名の学生と9名の職員が参加しました。今年は7月28日の熊本地震の影響で開催が危ぶまれましたが、大きなケガや事故もなく計画通りの大会運営で行われました。この親善体育大会に向け毎日練習に励んだ部もあり、有意義な素晴らしい大会となりました。どの競技も他県との交流を深めながら、最後まで粘り強くプレーし、チームワークの良さを発揮し、一生懸命にプレーする姿に感動しました。この大会で1年生と2年生の距離間が近まったように感じられました。楽しい思い出をありがとうございました。

本校の試合結果　優　勝･･･････サッカー　　準優勝･･･････男子ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝCﾁｰﾑ















野 菜 コース



石丸　陽良
（諫早農業高卒）　　雲仙市

「キャベツの直播栽培における省力化の検討」

キャベツは通常「定植」が一般的だが、「直播」を行うことでどの程度省力化ができるか考え、プロジェクトに取り組みました。



牛島　桜子
（京都芸術大学付属高卒）
佐世保市

「緑肥を使ったスイートコーン栽培による減肥の可能性」

マメ科緑肥は、空気中の窒素を固定する性質があり、土壌にすき込むことで後作の窒素源として利用可能です。そこで、本プロジェクトではスイートコーンを用いて、マメ科緑肥を活用した窒素減肥が生育や収量に及ぼす影響について調査しました。



大場　汰駕
（西彼農業高卒）　　西海市

「いちご（恋みのり）における育苗時の最終追肥時期の違いが芯止まりの発生及び生育、収量に及ぼす影響」

いちご品種「恋みのり」において、一番果で生育が終了する「芯止まり」の発生が多い傾向にある。そこで、通常７月下旬に遮断する窒素の施用時期を延長し、芯止まりへの影響を調査しました。

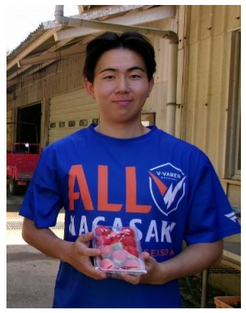
卒論テーマ特集号~その2~



高柳　善州
（島原農業高卒）　南島原市

「タマネギの移植栽培と直播栽培における生育・収量の比較」

タマネギの晩生品種「アンサー」を用いて、セルトレイ育苗と圃場に直接播種した場合の栽培が生育・収量・品質にどのような違いがみられるか調査しています。



本多　玲雄
（島原商業高卒）　南島原市

「イチゴの高設栽培においてシルバーマルチを使用した場合の収量・果実品質の検討」

イチゴ高設栽培において、シルバーマルチを使用した場合、慣行と生育状況、収量、果実品質にどのような差がでるか調査しています。





増山　弓真
（創成館高卒）　諫早市

「促成ナスの仕立て本数の違いが収量に及ぼす影響とシルバーマルチの株元被覆についての検討」

ナスの促成栽培では、仕立て方法は４本仕立てが一般的ですが、枝数を２本に減らすことで、生育・収量にどのような影響があるか調査しています。また、シルバーマルチを使用することで、品質向上がはかれないかあわせて調査しています。



増本　元希
（猶興館高卒）平戸市

「ブロッコリー側枝品種の収入ＵＰの可能性」

ブロッコリーは国民の食生活には欠かせない「指定野菜」として主力野菜になっている。そこで、私は頂花蕾だけ採るものと側花蕾を採るものの収入の差、労力の差について検証しました。



横田　野乃
（諫早農業高卒）　諫早市

「スイートコーンのトンネル栽培におけるセルトレイ苗の育苗日数が生育に及ぼす影響について」

スイートコーン栽培において、セルトレイ育苗は１粒まきが主流ですが２粒播種することで定植可能時期に違いがでるのかを調査しました。

畜産学科



佐々野　海璃
（五島南高卒）　五島市

「経産牛肥育における配合飼料の違いが枝肉成績等に及ぼす影響」

経産牛肥育では配合飼料の種類が特定されておらず、本試験で一般的に利用されている「肥育後期」と、「肥育前期」を比較して枝肉成績等に及ぼす影響を調査しています。



髙田　倭志
（島原農高卒）　南島原市

「超早期肥育における暑熱用サプリの給与が枝肉成績等に及ぼす効果」

超短期肥育（24ヵ月）において生産コストを低減したうえで、特に生産性が低下する夏場に暑熱期用のサプリの給与比較を行い、効果を調査しています。



谷川　樹希
（五島海陽高卒）　五島市

「黒毛和種におけるICT機器と添加飼料を利用した雌雄産み分けに関する研究」

ICT機器のファームノートが通知する授精適期と、脂肪酸カルシウムの飼料添加により、雌雄産み分けができるか、調査しています。



橋本　和佳奈
（島原農高卒）　島原市

「配合飼料、カルシウム・リンの増給が子牛の発育に及ぼす影響」

発育良好な子牛育成のため、濃厚飼料をマニュアルより増給するとともに、第二リンカルを添加することにより、育成子牛の発育に及ぼす影響を調査しています。

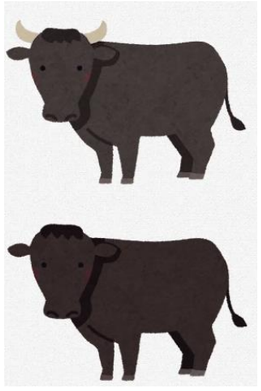


播本　翔太
（諫早農高卒）　諫早市

「複数種の粗飼料給与が子牛の発育に及ぼす影響」

発育良好な子牛育成のため、複数種の粗飼料を混ぜ、タンパクを強化した粗飼料を給与することにより、育成子牛の発育に及ぼす影響を調査しています。





～入学試験の案内～

出願資格
　高等学校を卒業した者、高等学校を令和９年3月卒業見込の者または、高等学校卒業と同等以上の学力を有すると知事が認めた者。（年齢制限はありません）

１次募集
出願期間
　令和８年１０月２３日(金)～１１月１３日(金)
試験日時
　令和８年１２月４日(金)　9:00～15:00
試験科目
　(必須) 現代の国語・言語文化、数学Ⅰ
　(選択) 生物基礎、化学基礎、農業から１科目選択
　　※農業は、園芸、畜産 どちらか選択
　集団討論、個人面接

2次募集
出願期間
　令和９年　2月　5日(金)～　2月１９日(金)
試験日時
　令和９年　3月　3日(水)　9:00～15:00
試験科目
　(必須)　小論文(800字程度)、数学Ⅰ
　集団討論、個人面接

●出願は、住所を管轄する各振興局農林水産部が窓口です。
県外在住の方は、農大教務課へご連絡ください。

お問い合わせは農業大学校教務課へ

